

**第三者評価基準** (様式2)  
**【 障害者・児福祉サービス版 】** R2年3月31日改定

**A-1 利用者の尊重と権利擁護**

	第三者評価結果
<b>A-1-(1) 自己決定の尊重</b>	
<b>A1</b> ① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<b>評価概要</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が意思決定しやすいように、場所や車両などを写真でカード化し、視覚的に選択できるよう工夫しています。</li> <li>・「意思決定」についてチームで共通理解するため、毎月振り返りシートを作成しています。</li> <li>・言語によるコミュニケーションが十分でない利用者の生活上のルールについて、利用者 と話し合うことはできていませんが、日頃の様子から不快を感じていないかなど、利用者の状態の把握に努めています。</li> <li>・障害特性に応じた合理的配慮として、騒音が苦手な利用者には、食事の場所を変えたり、時間帯をずらして提供するなどの工夫をしています。また、活動の見通しを立てられるようカレンダーに月ごとの予定を記載しています。</li> </ul>	
<b>A-1-(2) 権利擁護</b>	
<b>A2</b> ① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	<b>a</b> ・—・c
<b>評価概要</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人虐待防止委員会、虐待防止協議会、あおいとり虐待防止委員会を設置し、毎月目標を設定して、事業所内に貼付し、毎月振り返りシートによる分析を行って、虐待防止に取り組んでいます。また、法人外のアドバイザーによるスーパーバイズも行われています。</li> <li>・価値観の違いにより職員間で意見が分かれた場合は、それぞれの理由をしっかりと言語化できるように、検討を重ねる機会を設けているとのことでしたので、今後も権利擁護についての認識を高めるような取り組みを期待しています。</li> <li>・新卒者や中途入職者に対しても、法人や事業所の取組みを研修等で伝えています。</li> </ul>	

**A-2 生活支援**

	第三者評価結果
<b>A-2-(1) 支援の基本</b>	
<b>A3</b> ① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<b>評価概要</b>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の多い利用者も支援の少ない利用者も、日々の生活状況について、気づいた変化や数値的な情報を、しっかりと記録されています。</li> <li>・てらやまの風においては、利用者自身の身の周りの整理整頓や掃除、片付けなどを職員と一緒にするなど、自律・自立生活の支援をしています。</li> <li>・利用者の権利擁護や支援についての情報共有は、パソコン上の共有において行われますが、必要に応じ伝言ノートや朝礼・職員会議等で周知されています。</li> </ul>		
A 4	<p>② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。</p>	a・b・c
<p><b>評価概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭以外のコミュニケーション手段として、絵カードやジェスチャーなど非言語的コミュニケーションを取り入れながら、日々の支援を工夫しています。利用者の意思表示については主に担当職員が把握するようにし、モニタリングを通じて、職員全体で情報を共有しています。</li> <li>・意思表示が難しい利用者の意思や希望の確認については、担当職員から課題提起し、職員会議の場において、個別のケースごとに検討し、支援情報を共有しています。</li> </ul>		
A 5	<p>③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。</p>	a・b・c
<p><b>評価概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長や課長、サービス管理責任者等が不定期に現場に入り、利用者とのコミュニケーションをとりながらニーズを直接聞いたりしています。</li> <li>・利用者互助会など、利用者同士で話し合える機会を意図的につくることが望まれます。</li> <li>・言葉での意思表示が難しく、職員が意向を確認することが難しい方の意思決定について、職員による代行決定が多いことから、日常において利用者自身が自己決定できるための工夫が望まれます。</li> <li>・計画と異なるニーズがある場合の支援調整については、職員会議やケース会議などで情報を共有し、検討したうえで、柔軟に調整しています。</li> </ul>		
A 6	<p>④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。</p>	a・b・c
<p><b>評価概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中活動については、ウォーキングや散歩などの外出支援のグループと、レクリエーションなど室内で創作活動を行うグループを構成し、午前と午後で交互に実施しています。</li> <li>・利用者が参加に消極的な場合は、無理な参加要請はしていません。</li> <li>・定期的に食堂や中庭で、リズムハートによる打楽器のレクリエーションを実施しています。</li> <li>・コロナ禍以前においては、知的障害者福祉協会主催のグラウンドゴルフ大会や障がい者スポーツ大会への参加など、積極的に参加をしていました。</li> </ul>		

A7	⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a・b・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の専門的スキルを高めるため、スペシャルラーニングを取り入れ、専門的な知識を自宅でいつでも学べる環境を作っています。活用については、職員によって取り組みに差はありますが、多様な学びの機会となっています。</li> <li>・ 強度行動障害支援者養成研修など、外部研修においても積極的に参加できる機会を作っています。</li> <li>・ これまでの不適応行動に関する支援については、これまではOJTによる指導が中心でしたが今後は、支援技術や支援方法について、検討・見直しを図る際に、外部の専門職の助言を受ける機会を設けることも望まれます。</li> </ul>		
A-2-(2) 日常的な生活支援		
A8	① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a・b・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直営の調理で食事を提供しており、時間が遅れても温冷庫により適温での提供をしています。アレルギー等については食札に記載し、事故防止に努めています。</li> <li>・ 毎月、誕生会を行ったり、イベント食の提供などを実施しています。</li> <li>・ 2名の栄養士を配置し、嗜好調査を定期的に行っていますが、家族に向けて食事状況の様子などを知らせる工夫が望まれます。</li> <li>・ 入浴は毎日実施し、夕方の時間帯に一人平均15～20分ぐらいで実施しています。</li> <li>・ 個々の排泄リズムを把握し、日々の運動や水分摂取を促しています。</li> </ul>		
A-2-(3) 生活環境		
A9	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a・b・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の快適な生活環境を確保するため、毎年、2～3部屋ずつ、畳部屋からフローリングに改修しています。</li> <li>・ 集団生活でもあり、プライバシーが保ちにくい部分があるため、今後も利用者の生活環境に対する配慮を期待します。</li> <li>・ 利用者の居室には、テレビや私物等がなく生活感を感じられない部分もあったため、生活環境に関するアンケートを実施するなど、利用者の意向を取り入れる工夫をしながら改善に取り組むことが望まれます。</li> <li>・ 故障箇所や修理箇所等については、法人の施設整備課に連絡することで、早急に対応していますが、対応が難しい場合は、業者による改修をしています。</li> </ul>		
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		

A10	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a・b・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日のウォーキングやレクリエーション等を行うことにより、生活動作としての機能訓練が行われています。</li> <li>・また、掃除、洗濯、クッキング等のイベントなど、利用者の心身の状況に応じた訓練が行われています。</li> <li>・利用者の希望に応じて、外部の専門職による助言をもらう機会を設けることが望まれます。</li> </ul>		
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
A11	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a・b・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の健康状態は、バイタルチェックや食事量、排泄等での確認し、外傷等については入浴時にチェックしています。</li> <li>・体調変化（緊急時）の対応について、マニュアル等で明確化されており、職員間で共有されています。</li> <li>・夜間帯における急変時には、看護師が対応しますが、課長やサービス管理責任者等も対応しています。</li> <li>・体調不良による通院を行った際などは、通院後に家族への状況報告も行っています。また、定期的（年2回）に家族へ、近況報告も行っています。</li> <li>・職員会議後に看護師から医療にかかわる研修等も行っています。</li> </ul>		
A12	② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a・b・c
評価概要		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・服薬等に関するマニュアルにもとづき、2人以上の職員で確認を行い、事故防止に努めながら、服薬支援をしています。</li> <li>・臨時薬が出た際は、担当職員や看護師が共有ファイルとデータで情報共有し、職員全体に周知しています。</li> <li>・日頃の薬は、看護師により個人ごとに丁寧に仕訳けされ、間違いないように保管されています。</li> <li>・誤薬が発生した場合は、原因を検討したうえでケース記録に記載し、再発防止に努めています。</li> </ul>		
A-2-(6) 社会参加、学習支援		
A13	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a・b・c
評価概要		

<ul style="list-style-type: none"> <li>・外出外泊については、利用者の希望にもとづき対応しています。</li> <li>・コロナ禍以前については、グラウンドゴルフ大会、障害者スポーツ大会、サーカスなどに参加していましたが、社会参加に関する情報提供や、機会の提供について利用者の意向を確認しながら検討することが望まれます。</li> <li>・令和4年度は、ドライブを兼ねて鹿児島マラソンの応援に行ったり、それ以前は日帰り旅行や一泊旅行に行ったこともあります。</li> <li>・利用者の希望を実現するため、利用者一人ひとり、年2～3回ずつの個別外出を設けています。</li> <li>・今後、外出以外にも利用者が社会参加や学習できる機会を作る工夫をされることを期待します。</li> </ul>
---

A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援

A14	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a・b・c
-----	--	-------

評価概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害特性により地域生活への意向は難しいとのことでしたが、なかにはグループホームを希望する方もいるかもしれないため、まずは利用者の地域移行に対するニーズの把握に取り組むことが望まれます。</li> <li>・グループホーム設置時には施設から地域移行した実績があります。</li> <li>・法人内のグループホームは、現在満床であるため、近隣のグループホームの情報を集めるなど、地域の社会資源との連携が望まれます。</li> <li>・養護学校の卒業後の受け皿として、年間4～5件の施設見学を受け入れていますが、体験入所の機会を設けるなどの工夫が望まれます。</li> </ul>
--

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援

A15	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a・b・c
-----	------------------------------	-------

評価概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍以前は、家族会総会があり、家族と意見交換する機会がありましたが、直近3年ほどはできていません。代替策として、家族の来園時や家族会会長等から要望や意見をいただいています。</li> <li>・家族と直接、語り合う機会が少ないため、今後、定期的に意見交換できる機会を作るなどの対応を行うことが望まれます。</li> <li>・職員の顔と名前を分かってもらえるように、顔写真等を掲示してあります。</li> <li>・家族等の意見や要望について、事業所内で検討し、取り組んだことを、機関誌に掲載するなどの工夫が望まれます。</li> </ul>
---

A-3 発達支援

	第三者評価結果
--	---------

A-3-(1) 発達支援		
A16	① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c
評価概要		
評価対象外		

A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
A17	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a・b・c
評価概要		
評価対象外		
A18	② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるような取組と配慮を行っている。	a・b・c
評価概要		
評価対象外		
A19	③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a・b・c
評価概要		
評価対象外		